

## ■ 米国商務省電気通信・情報局(NTIA)局長から ICANN への書面訳文

2012年1月12日、ICANNは新gTLDを運営することに関心をもつ者の申請受け付けを開始する。商務省・電気通信情報局(National telecommunications and Information Administration: NTIA)は、このプログラムが各国の多様なステークホルダー(マルチステークホルダー)による6年に及ぶプロセスの産物であることを理解しており、このプロセスを経てなされた決定と妥協に干渉するつもりはない。

しかしながら、ここ数週間の間に当局が産業界と持った協議を通じ、本プログラムの特定側面において、意図しない不測の結果がもたらされ、その成功を妨げかねない、大きな懸念が生じていることを知った。したがって、ICANNが本プログラムを進行させるに際し、以下の実施措置を検討されんことを強く促すものである。

- i. 防衛目的登録の必要性を最小限にすること
- ii. 法執行および消費者保護に関して現在 ICANN が表明している措置を即座に実施すること
- iii. ステークホルダーたちによりよい教育を確保すること

最初に、最近のステークホルダーたちとの協議の結果、多くの組織、とりわけ商標所有者が、トップレベルドメインにおいて防衛目的の申請をしなければならないと信じていることが明らかになった。かかる防衛申請の可能性は、これまでのマルチステークホルダー・プロセスの中では、新gTLDを運営するための高コストと難しさのため企業による防衛登録の申請は制約を受けるであろうとの考えから、十分に理解されていなかった。多くの企業がレジストリ運営に関心がないにもかかわらず防衛目的でトップレベルドメイン申請を余儀なくされるとすれば、この拡大プログラムは健全なものとは言えないことについては、我々(NTIA)も ICANN もステークホルダーも一致するところだと思う。したがって、かかる事態を回避すべく、申請期間が終了する前にいくつかの措置を講ずるよう ICANN に示唆する。

第二に、申請期間が終了し、ICANNが申請案件の詳細を公開した後、今回のgTLD拡大の範囲について判断できる事実が明らかになるだろう。このときに、ICANNが新gTLD導入を段階的に行う必要があるか否かを評価することは有用となるだろう。さらに、新gTLDの運営予定者は、「アプリカント・ガイドブック」で要求されている以上の保護を提供する能力を有する。申請文字列リストが公開されれば、NTIAは、ステークホルダーの意見を求め、政府諮問委員会(GAC)と協力し、セカンドレベルドメインにおける追加の保護が保証されるか否かを評価する。理論上ではなく、申請人が提出した現実の状況やコンフリクトを評価する能力を有することにより、問題が生じた場合、それに対処しようとするあらゆる者を支援し、焦点を当てることが可能になる。

三番目に、米国のステークホルダーには新gTLDについてよく理解していない者がいることが明らかになった。このようなステークホルダーに対し、本プログラムの目的と範囲および仕組みについてよりよく理解してもらうべく教育を提供することを、ICANNに対し強く望むところである。「アプリカント・ガイドブック」が策定したルールと手続きについて詳細に説明することは、ICANNが1月12日より前

に開始し、申請期間中は継続する必要がある、この支援活動における必須要素となる。

最後に、「アプリカント・ガイドブック」には直接結び付くものでないものの、法執行および消費者保護担当官が利用できるツールをさらに強化する3つの作業を、ICANN が完遂することを再度強調しておきたい。その一つは、GAC が承認する法執行当局の提案を考慮したレジストラ認定契約の強化である。この点、2011年10月のダカール協議におけるICANN のリーダーシップ(2012年3月のICANN 会合において決議する道筋をつけた)を称賛したい。二つ目は、ICANN が、現行 WHOIS ポリシーの実施における明らかな欠陥(WHOIS 登録の認証を含む)に対処する必要性である。12月初頭の Affirmation of Commitments WHOIS レビューチーム報告の掲載は歓迎すべきことであり、これまでの慣行に従い、ICANN 理事会がこの提案を真摯に受け止め2012年6月会合で行動してくれることを期待したい。3つ目は、ICANN が、ICANN の契約順守部のスタッフを揃え、強化する必要性である。とりわけ、ICANN は、2012年第3四半期の終わりまでに不服受理プロセスを中央集権化、自動化し、より透明性高いものにする必要がある。

NTIA は、経済成長、イノベーション、および情報、商品、サービスのオンラインでの自由な流通の価値あるツールとしての、オープンなグローバルインターネットを維持することに専心するものである。この目的を達成するための最善の方法は、ICANN のようなマルチステークホルダー・インターネット・ガバナンスのプロセスを積極的に支援し、これに参加し続けることにあると確信している。ICANN が新 gTLD プログラムをいかに扱うは、このアプローチの有効性を占うリトマス紙となろう。NTIA としては、GAC メンバーとして積極的に関わり続け、この新 gTLD プログラムが意図せざる結果を回避すべくステークホルダーたちと協力してゆくことを約束する。